



金次郎像の「ふるさと」を訪ねて

校長 向井 一郎

夏休みが明け、子供たちの元気な声が校内に戻ってきました。この夏の暑さの中、子供たちはそれぞれに充実した時間を過ごしたと思います。スポーツの練習で汗を流したり、もっと知りたいことを調べるために本を読んだり、将来の夢に向かって習い事の発表に挑戦したりと、さまざまな経験があったことでしょう。その一つ一つの努力が、この秋の頑張りにつながっていくものと信じています。

この夏は、天候の面で大きな出来事がありました。関東地方への台風の接近や千葉県での豪雨によって、ハザードマップで想定されていなかった地域にも被害が発生しました。その日、八千代市の自宅で数時間にわたって降り続く豪雨と鳴り響く雷を体験しました。テレビニュースで地域に大雨特別警報が発表されたことが伝えられ、自分の住む町で大変なことが起きていることを実感しました。翌週末に発生した深夜の地震にも驚きました。防災用品は備えていましたが、家具の固定が不十分だったためコレクション物品が散乱してしまいました。今回の経験を通して、災害への備えには「これで安心、大丈夫だ!」という終わりがいいことを実感しました。学校でも改めて安全点検や防災教育の充実に努めます。

そんな夏、私は校門に立つ「二宮金次郎像」の「ふるさと」を訪ねる旅に出ました。金次郎自身の生まれ故郷である小田原を訪問したことは、昨年度の学校だよりで紹介しました。また、本校校庭に金次郎像がきれいな状態で残されている「奇跡」についても触れました。(紙芝居形式にまとめてありますので、ぜひQRコードからご覧ください。)今年、どうしても解き明かしたかったのは、この銅像がどのような場所で、どのように作られたのか、そして同じ原型から生まれた二宮金次郎像が全国のどこに残され、いつ建立されたのかということでした。



本校の金次郎像について調べる中で、銅像の国内最大の生産地である富山県高岡市の「伝統工芸高岡銅器振興協同組合」に問い合わせをしました。すると、組合理事長であり、株式会社平和合金の会長を務めておられる藤田益一様をご紹介いただきました。明治39年(1906年)創業の平和合金は、銅像やモニュメント、神仏具などの大型铸件を製造している会社で、現在国内で唯一、二宮金次郎像を製造している会社だそうです。そこでこの夏は、富山市に住む義母のお見舞いも兼ねて、これまで集めた金次郎関係の資料を車に積み、高岡市へ向かいました。

会社の玄関では、金色に輝く二宮金次郎像が迎えてくれました。そしてお忙しい中、藤田会長から、戦前に全国の小学校へ銅像が広まっていった背景や、金次郎の生き方、その教えについて詳しくお話を伺う機会を得ました。二宮金次郎の教えは「報徳訓」として知られています。「至誠(しせい)」は真心を尽くすこと、「勤労(きんろう)」はよく働くこと、「分度(ぶんど)」は身の丈に合った生活をする、そして「推譲(すいじょう)」は余力を社会や未来のために譲ることを意味します。私自身、「推譲」という言葉は初めて耳にしましたが、その説明を聞いて大いに納得しました。大リーグで活躍する大谷翔平選手の母校である花巻東高校では、この「報徳訓」が教育に取り入れられているそうです。二年前に全国の小学校へグローブが寄贈されたことを思い出し、その根底にはこうした考え方があるのかもしれないと感じました。

現在、二宮金次郎像は学校よりも企業の本社玄関などに設置されることが多いそうです。私は当初、工場ではベルトコンベヤーに乗った二宮像が次々と作られている様子を想像していました。しかし実際には、注文を受けて原型を作り、砂や粘土で鋳型を作成し、1200度以上に溶かした銅合金(「湯」と呼ばれます)を流し込んで、一つ一つ職人の手作業によって丁寧に作られていました。現在は金属価格の高騰もあり、一体の銅像を製作する費用は60年前のおよそ10倍になっているそうです。今回、特別に広い工場内を見学させていただき、原型製作から完成までの全工程を説明していただきました。そして、高岡の伝統産業の素晴らしさを改めて実感しました。こうして丁寧に作られた金次郎像を、本校の宝としてこれからも大切にしていかなければならないと感じました。

本校の金次郎像を調べれば調べるほど、新たな謎が見つかります。全国に残る同じ作者(鉄堂銘)の金次郎像との比較から、本校の像は戦後に製作されたものであることが分かってきました。(ホームページで全国の金次郎像をデータ化されている方がいらっしゃるのです。)神奈川県、三重県、愛知県、岐阜県、鹿児島県に残る同型の像はいずれも昭和30年代の建立です。新橋駅近くの南桜公園にも同型の金次郎像が保存されているというので調べてきました。そこには「皇太子殿下ご成婚記念」と刻まれていました。昭和34年の現上皇陛下ご成婚を記念して建てられた像であることが分かったのです。本校の銅像も間違いなく昭和30年代の製作です。果たしてこの銅像は誰が寄付して下さったのでしょうか。それが今、私が解き明かしたい大きな謎です。もしご存じの方がいらっしゃいましたら、ぜひ情報をお寄せください。

9月 月間予定表

	給食	朝活動	B時程	行 事	各学年時数					
					1	2	3	4	5	6
1(火)		朝会		給食なし4時間授業 引き渡し訓練(4校時)	4	4	4	4	4	4
2(水)	○	読書	B	給食始め	5	5	5	5	5	5
3(木)	○	学習	B		5	5	6	6	6	6
4(金)	○	学習			4	5	5	6	6	6
5(土)										
6(日)										
7(月)	○	朝会	B	委員会活動④ 発育測定(なのはな・1・2)	5	5	5	5	6	6
8(火)	○	学習		発育測定(3・4)	5	5	6	6	6	6
9(水)	○	読書	B	区小研 発育測定(5・6) 図書ボランティア読み聞かせ	5	5	5	5	5	5
10(木)	○	学習	B	安全指導	5	5	6	6	6	6
11(金)	○	学習	B		4	5	5	6	6	6
12(土)										
13(日)										
14(月)	○	朝会	B	クラブ活動④	5	5	5	6	6	6
15(火)	○	学習			5	5	6	6	6	6
16(水)	○	読書	B	秋季歯科検診(全)	4	4	4	4	4	4
17(木)	○	集会		お楽しみ集会 5時間授業 ひがしんアリーナ交流学习(なのはな3、4年)	5	5	5	5	5	5
18(金)	○	学習		5時間授業	4	5	5	5	5	5
19(土)										
20(日)										
21(月)				敬老の日						
22(火)				国民の休日						
23(水)				秋分の日						
24(木)	○	集会		音楽朝会	5	5	6	6	6	6
25(金)	○	学習	B	演劇鑑賞教室(3・4校時)(全)	4	5	5	6	6	6
26(土)				吾立中学校説明会						
27(日)										
28(月)	○	朝会			5	5	5	6	6	6
29(火)	○	学習		那須甲子移動教室事前検診(5)	5	5	6	6	6	6
30(水)	○	読書		那須甲子移動教室(5)	5	5	5	5	5	5

家庭と学校がともに育む子どもの成長 生活指導 担当 金子 由侑

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休み明けのこの時期は、楽しかった思い出を胸に、学校生活を楽しみにしている子どもがいる一方で、生活リズムが戻らなかったり、学校生活に不安を感じたりする子どももいます。ご家庭で、一緒に食事をしたり、何気ない会話をしたりする中で、お子さんの表情や様子を見ていただけたらと思います。そして、気になる様子が見られた場合には、学校にもご相談ください。子どもたちが安心して学校生活を送るためには、学校と家庭が一緒になって子どもたちを見守っていくことが大切です。学校でも子どもたちの小さな変化を見逃さず、一人一人の気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。保護者の皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今月の生活目標

規則正しい生活をしよう